

平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金  
障害者対策総合研究事業（精神障害分野）

「PTSD 及びうつ病等の環境要因等の分析及び介入手法の開発と向上に資する研究」

分担者研究報告書

被災地における飲酒問題の実態把握とその対策に関する研究

研究分担者 樋口 進 国立病院機構久里浜医療センター院長

研究要旨

東日本大震災では、自衛隊、警察、消防、電力会社職員等が過酷な状況のなか救援活動に奮闘した。一方で、そのような過酷な活動による惨事ストレスによって、PTSD、うつ、アルコール消費量の増大等が懸念されている。今後も発生するであろう大規模災害に向けて、支援者における惨事ストレスの実態を明らかにし、対処方法を検討することが必要である。

岩手県大船渡市では、震災直後から国立病院機構久里浜医療センターが支援に入っていた縁があり、同院は大船渡市消防団に対するこころのケアの依頼を受けている。本研究はその一環として大船渡市消防団団員約 1,000 名の精神的ケアと同時に、うつ病、心的外傷後ストレス障害（PTSD）、アルコール乱用または依存症等の有病率や消防団としての活動、被災状況との関連等について現状を把握し、さらにその変化を前向きに調査することを目的とする。質問紙によるスクリーニングを実施し、必要なものには面接による評価も行う。

2011 年 9 月に第 1 回調査を実施しており、本年度は、第 1 回目の調査の追跡調査を実施した。調査は現在も進行しており、本報告書を作成する時点で約 300 名から回答を得ている。今後、第 1 回調査回答者の 60%を超えるまで調査を継続し、次年度にデータの解析を行う。

研究分担者

樋口 進 国立病院機構久里浜医療センター

研究協力者

松下幸生 国立病院機構久里浜医療センター

横山顕 国立病院機構久里浜医療センター

木村充 国立病院機構久里浜医療センター

真栄里仁 国立病院機構久里浜医療センター

米田順一 国立病院機構久里浜医療センター

佐久間寛之 国立病院機構久里浜医療センター

吉村淳 国立病院機構久里浜医療センター

中山秀紀 国立病院機構久里浜医療センター

遠山朋海 国立病院機構久里浜医療センター

藤田さかえ	国立病院機構久里浜医療センター
岩本亜希子	国立病院機構久里浜医療センター
桑田美子	国立病院機構久里浜医療センター
三原聡子	国立病院機構久里浜医療センター

## A. 研究目的

災害時に救援者が受けるストレスは惨事ストレスと呼ばれている。ベトナム戦争からの帰還兵における PTSD 研究を契機に注目を集めるようになったが、わが国では 1995 年の阪神淡路大震災以降人口に膾炙した。

自然災害に加え大規模テロのような人為的な災厄も頻発する昨今の情勢において、この惨事ストレスの実態と、PTSD、うつといった精神障害やアルコール消費量との関連を調査することは世界的に喫緊の課題となっている。

本研究では、岩手県の大船渡市の消防団を研究対象としている。彼らは日常的にはそれぞれの仕事を持ち、必要時に地域の防災活動に主体的に取り組む我が国独特の組織である。東日本大震災においては、消防団員の死者・行方不明者は 253 人に上り、消防署員の死者・行方不明者 27 人の 10 倍近くとなっている。身近な消防団員が未曾有の大災害にあたり水門の管理、避難誘導等で危険を顧みずに活動したことがうかがえる。一方で、支援業務のプロフェッショナルである自衛隊、警察、消防隊員と比べると、消防団員の教育や訓練は簡潔なもとのなるため、惨事ストレスに対する脆弱性が懸念される。

本研究においては、すでに 2011 年 9 月に実施したうつ病、心的外傷後ストレス障害 (PTSD)、アルコール乱用または依存症等の有病率に関する 1 回目の調査を基に、2013 年に 2 回目の調査を行い、両者を比較検討することで、惨事ストレスの影響を前向きに調査する。

## B. 研究方法

### 1) 調査対象

大船渡市消防団員約 1,000 名のうち、本調査に協力するもの

### 2) 調査票

今年度実施した追跡調査に使用した調査票は自記式調査票で、基本的に初回調査と内容は同一である。

消防団活動歴、自身の被災状況等に関する質問票に加えて、以下のような調査票を組み入れてある。

- ・ K-10<sup>1)</sup>
- ・ CES-D(Center for Epidemiologic Studies Depression scale)<sup>2)</sup>
- ・ IES-R(Impact of Event Scale-Revised)<sup>3)</sup>
- ・ AUDIT (Alcohol Use Disorders Identification Test)<sup>4)</sup>
- ・ FTND (Fagerström Test for Nicotine Dependence)<sup>5)</sup>

### 3) 調査の方法

調査票の作成は久里浜医療センターで行った。調査票の現地での配布、回収については大船渡市消防署の協力を仰いだ。調査実施者が、現地に赴き、消防署担当者に調査の内容や実施方法を詳細に説明し、調査協力をお願いし、実施した。

調査票より何らかの疾病や過度のストレスが懸念される者に対しては、久里浜医療センター医師による現地での面接が行われている。

回収された調査票は、久里浜医療センターでデータ入力を行い、解析している。

コントロールには、2008年に一般成人を対象に実施された全国調査<sup>6)</sup>から性と年齢を一致させたものを用いた。

## C. 倫理に対する配慮

本研究については、久里浜医療センター倫理審査委員会にて承認を得ている（2011年12月21日、受付番号163）。

調査に際しては、対象者に調査の内容を書面によりよく説明し、理解いただいた上で実施する。また、調査に際しては書面による同意書を得てから実施する。

## D. 結果と考察

今年度は追跡調査（第2回調査）を実施している。

第1回調査では683名（65.4%）の回答が得られた。コントロール群と比べAUDITで8点以上の者はコントロール群23.3%に比べ、対象群は37.8%と有意に高かった( $p < 0.0001$ )。また、自身の被災状況との関連では、近親者を亡くした者のAUDIT scoreは8.12と、近親者喪失体験の無い者6.77と比べ有意に高かった( $p < 0.001$ )。さらに、AUDITで10点以上の者では、近親者を亡くした者が60.0%であり、近親者喪失体験のない者(40.0%)と比べ有意に高かった( $p < 0.01$ )。

今年度実施している追跡調査（第2回調査）では、現在300名程度（第1回調査からの追跡率50%程度）の回答を得ており、追跡率を60%超にできるよう、鋭意回収を継続中である。次年度は、初回調査および追跡調査の結果を解析し、被災地の飲酒状況等の変化を報告する予定である。

## E. 参考文献

- 1) 川上憲人, 近藤恭子, 柳田公佑, 古川壽亮. 成人期における自殺要望対策のあり方に関する精神保健的研究. 平成16年度厚生労働科学研究費補助金(こころの健康科学研究事業)「自殺の実態に基づく予防対策の推進に関する研究」分担研究報告書
- 2) 島悟, 鹿野達男, 北村俊則ほか. 新しい抑うつ性自己評価尺度について. 精神医学 27:717-723, 1985
- 3) Asukai N, Kato H, Kawamura N et al.: Reliability and validity of the Japanese – language version of the Impact of Event Scale-Revised. J NervMent Dis 190:175-182, 2002.
- 4) Saunders JB, Aasland OG, Babor TF et al. Development of the Alcohol Use Disorders Identification Test (AUDIT): WHO Collaborative Project on Early Detection of Persons with Harmful Alcohol Consumption-II. Addiction 88: 791-804, 1993.

5) Heatherton TF, Kozlowski LT, Frecker RC et al. The Fagerström Test for Nicotine Dependence: a revision of the Fagerström Tolerance Questionnaire. Brit J Addict 86: 1119-1127, 1991.

6) 樋口進. わが国における飲酒の実態ならびに飲酒に関連する生活習慣病、公衆衛生上の諸問題とその対策に関する総合的研究(主任研究者: 石井裕正). 厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業)総合報告書 12-18, 2009

## F. 健康危険情報

報告すべきものなし。

## G. 研究発表

### 1) 国内

口頭発表	1 件
原著論文による発表	0 件
それ以外の発表	0 件

### 2) 海外

口頭発表	0 件
原著論文による発表	0 件
それ以外の発表	0 件

## H. 知的所有権の出願・取得状況 (予定を含む。)

1. 特許取得: なし
2. 実用新案登録: なし
3. その他: なし

大船渡市消防団 心の健康チェックシート（追跡調査用）

前回はお忙しい中を、本調査にご協力いただきありがとうございました。幸い多くの方々にご協力をいただきました。

結果の概要をご報告します。

「うつ」や「PTSD(災害後の過剰なストレス状態)」といった点では、一部の方で精神的な疲労がたまっていることが見受けられました。

飲酒については、心配な方が1割ほどいらっしゃいます。災害後の飲酒への影響は徐々に現れます。うつ病や PTSD の他に飲酒に関する注意も必要です。

消防庁の調査では、被災地消防団の2割の方々は、依然高いストレスを抱えていると指摘されています。震災後2年が経過しようとする中で、生活の変化や酒量の増加等によってジワジワと慢性的な影響がでてきている方もいらっしゃるかもしれません。

今回の2回目の調査では、このような変化がないか確認させていただき、もし心配な方がいらっしゃればご希望に応じて診察等のお手伝いをさせていただきます。

あまり深く考えずにもっともあてはまると思われるものを選んでください。

同じような内容の質問が繰り返される場合がありますが、見落としを防ぐためのものです。

回答内容は下記施設の担当者以外の者が読むことはありません。 **個人情報厳守いたします。**

1. アンケートに記載された個人情報はこの調査の目的以外には使用いたしません。
2. 調査の結果を公表する場合には個人を特定できないように集計した上で公表いたします。個人の回答内容は一切公表いたしません。
3. 今回、この調査にご協力いただいた場合であっても、いつでも協力をとりやめることができます。協力をとりやめたい場合には、下記の調査事務局までご連絡くださればご回答いただいたアンケートを破棄いたします。

このアンケートに関するご質問や個人情報の管理に関するお問い合わせは下記責任者までお願いいたします。

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 副院長 松下幸生（まつしたさちお）

〒239-0841 神奈川県横須賀市野比5 3 1 電話 046-848-1550

上記趣旨をご理解の上、**以下にご署名の上**、ご協力いただければ幸いです。（今回は薄謝を用意させていただきましたので、ご住所もご記入ください）

このアンケート調査依頼の趣旨を理解し研究に協力することに同意して、署名します。

**ご住所（謝礼送付先）**

〒

**御署名**（お名前をご記入ください）

久里浜医療センターは神奈川県横須賀市にある精神科を主とする医療機関です。今回の災害にあたり、大船渡市へ心のケアチームを派遣したご縁で、震災時にご活躍とご苦勞をされた大船渡市消防団の団員の皆様の心のケアを依頼されたことがきっかけです。今回の調査は厚労省研究班の調査としてご協力をお願いすることになりました。

下線部にご記入いただき、選択するものは で囲んでください。

1. **性別** 男 ・ 女      **年齢** \_\_\_\_\_才      第\_\_\_\_\_分団 ・ 団本部

2. **消防団員歴** \_\_\_\_\_年      **職業（消防団以外のお仕事）** \_\_\_\_\_

3. **この1年での健康の変化**

良くなった ・ 変化ない ・ 悪くなった

**その理由（高血圧と言われた、体調が良くなったなど）** \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

4. **仕事の状況**      元々働いていない・同じ職場で働いている・震災後は別の仕事をしている・求職中・これを機に引退した

**現在働いている方は、現在の仕事をどう感じていますか？**

満足 ・ こんなもの ・ 不満 ・ どちらとも言えない

5. **現在のお住まいの状況**

震災前から同じ ・ プレハブ型仮設住宅 ・ みなし仮設（借り上げ民間賃貸, 公営住宅） ・ 家族, 友人, 親せき宅 ・ 建て替え新築 ・ その他（\_\_\_\_\_）

6. **困ったときに、相談できる人はいますか？**      いる ・ いない

**いる方は、どなたですか？** \_\_\_\_\_

7. **今後の展望について、どのようにお感じですか？**

なんとかなるだろう ・ わからない ・ 良い展望は持てない ・ 考えないようにしている

**その理由** \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

8. **今から振り返ると、震災時のご自身の消防団での活動を、どのように感じていますか？**      肯

定的に感じている ・ どちらとも言えない ・ 否定的に感じている

**その理由** \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

ありがとうございました。次のページへお進みください。

この1ヶ月間を思い返して、当てはまると思う欄に を付けてください。回答に迷う場合も、最も近いと感じるものを選んでください。

	質問項目	全く ない	少し だけ	とき どき	たい てい	いつ も
1	わけもなくつかれきったように感じましたか					
2	神経過敏に感じましたか					
3	どうしても落ち着けないくらいに神経過敏に感じましたか					
4	絶望的だと感じましたか					
5	そわそわ落ち着かなく感じましたか					
6	じっと座ってられないほど、落ち着かなく感じましたか					
7	憂うつに感じましたか					
8	気分が沈みこんで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか					
9	何をするにも骨折りだと感じましたか					
10	自分は価値のない人間だと感じましたか					

ありがとうございました。次のページへお進みください。

<精神的疲労度のチェックシート>

次の質問を読んで、現在のあなたの状態にもっともよくあてはまる欄に をつけてください。

	質問項目	めったに ない	ときどき そうだ	しばしば そうだ	いつも そうだ
1	気が沈んで憂うつだ				
2	朝がたがは、いちばん気分がよい				
3	泣いたり、泣きたくなる				
4	夜よく眠れない				
5	食欲は、ふつうだ				
6	まだ性欲がある、異性に対する関心がある				
7	やせてきたことに気がつく				
8	便秘している				
9	普段よりも動悸がする（心臓がドキドキする）				
10	なんとなく疲れる				
11	気持ちはいつもさっぱりしている				
12	いつもと変わりなく仕事をやれる				
13	落ち着かず、じっとしてられない				
14	将来に希望がある				
15	いつもよりイライラする				
16	たやすく決断できる				
17	役に立つ、働ける人間だと思う				
18	生活は、かなり充実している				
19	自分が死んだほうが、ほかの者は楽に暮らせると 思う				
20	日頃していることに、満足している				

ありがとうございました。次のページへお進みください。



<ストレスチェックシート>

下記の項目はいずれも、強いストレスを伴うような出来事に巻き込まれた方々に、生じることがあるものです。**この1週間で**、それぞれの項目の内容について、どの程度強く悩まされましたか。あてはまる項目に○をつけて下さい。(なお、答えに迷われた場合は、不明とせず、もっとも近いと思うものを選んでください。)

	質問項目	ない	少し	中くらい	かなり	非常に
1	どんなきっかけでも、そのことを思い出すと、そのときの気持ちがぶり返してくる。					
2	睡眠の途中で目がさめてしまう。					
3	別のことをしていても、そのことが頭を離れない。					
4	イライラして、怒りっぽくなっている。					
5	そのことについて考えたり思い出すときは、なんとか気を落ち着かせるようにしている。					
6	考えるつもりはないのに、そのことを考えてしまうことがある。					
7	そのことは、実際には起きなかったとか、実際のことではなかったような気がする。					
8	そのことを思い出させるものには近よらない。					
9	そのときの場面がいきなり頭に浮かんでくる。					
10	神経が敏感になっていて、ちょっとしたことでどきっとしてしまう。					
11	そのことは考えないようにしている。					
12	そのことについてはまだいろいろな気持ちがあるが、それには触れないようにしている。					
13	そのことについての感情は、マヒしたようである。					
14	気がつくとき、まるでそのときに戻ってしまったかのように振る舞ったり感じたりすることがある。					
15	寝付きが悪い。					
16	そのことについて、感情が強くこみ上げてくることがある。					
17	そのことを何とか忘れようとしている。					
18	ものごとに集中できない。					
19	そのことを思い出すと、身体が反応して、汗ばんだり、息苦しくなったり、むかむかしたり、ドキドキすることがある。					
20	そのことについての夢を見る。					
21	警戒して用心深くなっている気がする。					
22	そのことについては話さないようにしている。					

ありがとうございました。次のページへお進みください。

**1. 現在タバコを吸いますか？**

吸う →

2へお進み下さい

もともと吸わない →

次のページへお進みくだ

さい

吸っていた時期もあるが今はやめている →

次のページへお進みください

**2. (現在タバコを吸っていると回答された方へ)** \_\_\_\_\_ 才頃から、平均して1日に \_\_\_\_\_ 本程度吸っている

**3. (吸うと回答された方へ)** 本数は、震災前後で変化がありますか？

ある (震災前の1日の本数 \_\_\_\_\_ 本 震災後 \_\_\_\_\_ 本) ・ 本数に変化はない

**(吸うと回答された方へ)**

次の質問にあてはまる回答に をつけてください

	質 問	回 答			
		5分以内	6～30分	31～60分	61分以上
1	あなたは、朝目覚めてから何分ぐらいで最初のタバコを吸いますか				
2	あなたは、喫煙が禁じられている場所、例えば図書館、映画館などでタバコを吸うのをがまんすることを難しいと感じますか	はい		いいえ	
3	あなたは、一日の中でどの時間帯のタバコをやめるのに最も未練がのこりますか	朝起きた時の目覚めの1本		右記以外	
4	あなたは、一日何本タバコを吸いますか	31本以上	21～30本	11～20本	10本以下
5	あなたは、目覚めてから2～3時間以内の方がその後の時間帯よりも頻繁にタバコを吸いますか	はい		いいえ	
6	あなたは、病気でほとんど一日中寝ている時でも、タバコを吸いますか	はい		いいえ	

ありがとうございました。次のページへお進みください。

